



■廃棄する場合は「雑古紙」としてリサイクルしてください。

発行 伊勢崎市 20270-24-5111 FAX 0270-23-9800
〒372-8501 群馬県伊勢崎市今泉町二丁目410番地 URL https://www.city.ise.sakig.jp
編集 広報課 印刷 川島美術印刷株式会社 毎月1日発行

魅力ある高校生にインタビュー

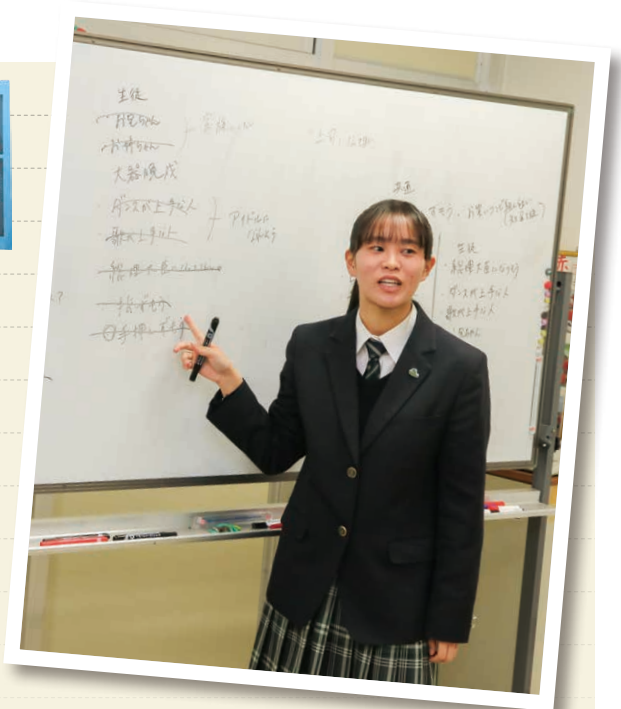


明日へ ジャンプ

No.194

生徒全員が参加できる組織作りで もっと魅力的な学校へ

四ツ葉学園中等教育学校 5年 丹治心さん



「入学前の学校説明会で参加者に積極的に声を掛ける生徒会の先輩たちに憧れて、生徒会に入りたと思います」と生徒会に所属したきっかけを話してくれた丹治さんは、学校をさらに魅力的にしたいという思いで、1年生から生徒会の活動を続けてきました。そんな丹治さんには、数々の活動の中でも印象に残っていることがあるといいます。

「女子生徒用のストラックス導入を実現したことが印象に残っています。一人一人が持つ個性をより大切にするためにストラックスの導入を提案しましたが、はじめは学校との話し合いが思うように進みませんでした。そこで、寒さなどの分かりやすい根拠を提示することで学校の理解が得られ、実現することができました」

生徒一人一人のことを思い活動を続けてきた丹治さんは、5年生から生徒会長を務めています。

「4年間生徒会の運営に携わってきた経験を生かし、生徒の豊かな個性を生かすことができ、さらにそれを発信できる体系を作りたいという思いで立候補しました」



プロフィール
たんじ・こころ
小学生の頃から地元合唱団に所属。今年参加した学校主催の海外グローバルリーダー研修でアメリカのマイナーリーグの球場で歌唱力を発揮した。今後は法学部に進学し、将来は発展途上国への援助などに携わりたいと話す。

明確な目標を持ち生徒会長を務める丹治さんには、心掛けていることがあるそうです。「これまでの生徒会は、自分たちの意思を通すことだけを考えていたように思います。その反省から、先生から現状に至る経緯や理由を聞いた上で、自分たちの考えを実現できるように心掛けています」

経験を基に円滑な生徒会運営を図る丹治さん。最後に、目指す生徒会像を聞きました。「まだ生徒と生徒会との関わりが薄いと感じています。生徒会は本来、生徒全員が所属しているものです。今後はSNSなども取り入れ、生徒一人一人が参加しやすい生徒会にしていきたいです」

1月24日(金)にいせさきFMで放送します ●午前7時54分～ ●午後1時25分～ ●午後5時50分～

今月のインフォメーション

- 本市の人口(2024年12月1日現在)**
■人口 212,173人(前月比+30)
■世帯数 97,052戸(前月比+110)
- 市税の納期**
市民税・県民税・森林環境税(普通徴収) 4期
国民健康保険税(普通徴収) 7期
納期限は1月31日(金)です
☎ 収納課(☎27-2723)

編集後記

1月1日に伊勢崎市は新市誕生20周年を迎えました。今号ではこれを記念し、これまでの本市の出来事を紹介しています。私がこの出来事の中で最も記憶に残っているのは、伊勢崎駅が新駅舎になったことです。高校時代に通学のため旧駅舎を利用していた私は、卒業から数年後、高架になりホームへエスカレーターで昇る姿に変貌した伊勢崎駅に衝撃を受けました。皆さんもこの20年の出来事の中に、思い出に残るものがあるのではないのでしょうか。